

TOMAKU



塗膜剥離

- 乾留式剥離・溶剤式剥離 -



HAKURI

熱の力で塗料をガス化！

乾留式塗膜剥離

乾留式剥離装置の原理

約 400 度から 450 度に温度制御された石英砂の流動浴が、あらゆる塗料や樹脂をガス化し、流動による石英砂の摩擦で塗料や樹脂等の付着物を剥離します。

流動浴は石英砂が沸騰した液体のような挙動をすることにより、均一な温度と高い熱伝導が得られ、理想的な攪拌作用を実現し、迅速な剥離効果を発揮します。

流動浴は剥離物を変形させることなく、損傷もほとんど与えず、しかもガスを完全燃焼させるので環境汚染の心配が少なく剥離できます。

乾留式塗膜剥離特徴

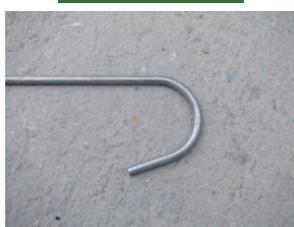
- ✓ 円筒物の内面などあらゆる形状の物の隅々まで剥離できます。
- ✓ 素材の摩擦や劣化が少なく、剥離対象物のライフサイクルを延ばします。
- ✓ 従来の熱を使った剥離方法とは異なり、熱による変形の低減に成功しております。
- ✓ 短時間で大量ロットでの処理ができます。
- ✓ 塗膜剥離後、炭素化した塗料の残骸を除去する為、亜鉛でショットブラストを行います。
- ✓ 溶剤を一切使わない上、産廃物をリサイクルする為、産業廃棄物の発生が非常に少ない環境に配慮した剥離方法です。

剥離処理前



befor

剥離処理後



after



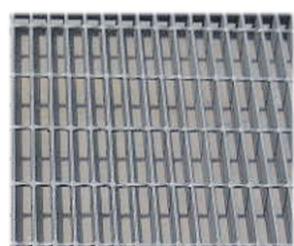
befor



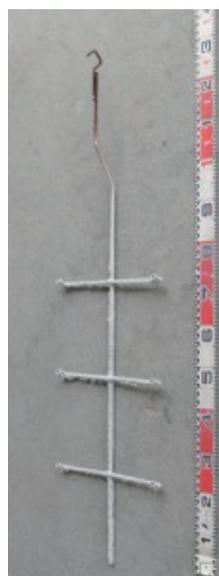
after



befor



after



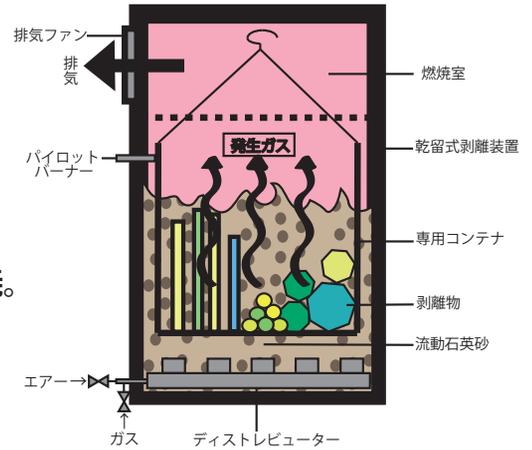
befor



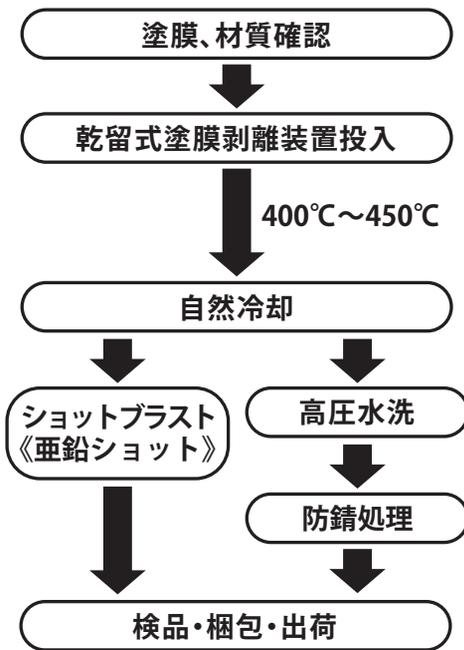
after

■ 作業の流れと構造

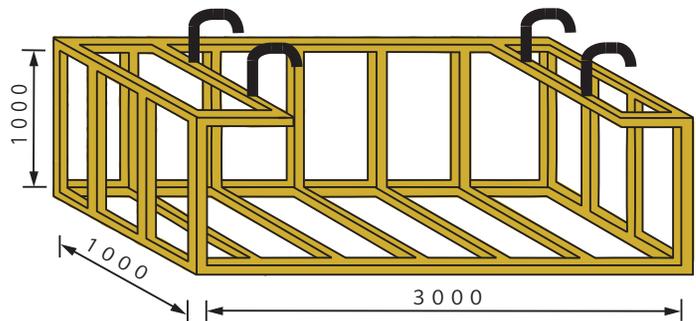
- 1 エアーとガスによる石英砂の流動化
- 2 パイロットバーナーによる点火
- 3 流動化により層内が均一に昇温
- 4 剥離物の入った専用コンテナが流動浴層内に沈殿
- 5 剥離物の塗料や樹脂を加熱しガス化させ、燃焼室にて完全燃焼。
更に流動化した石英砂で摩擦剥離も行う。
燃焼室で発生する熱量の一部は、層内の昇温に再利用します。



乾留式塗膜剥離処理フローチャート



◎ 乾留式装置専用コンテナサイズ

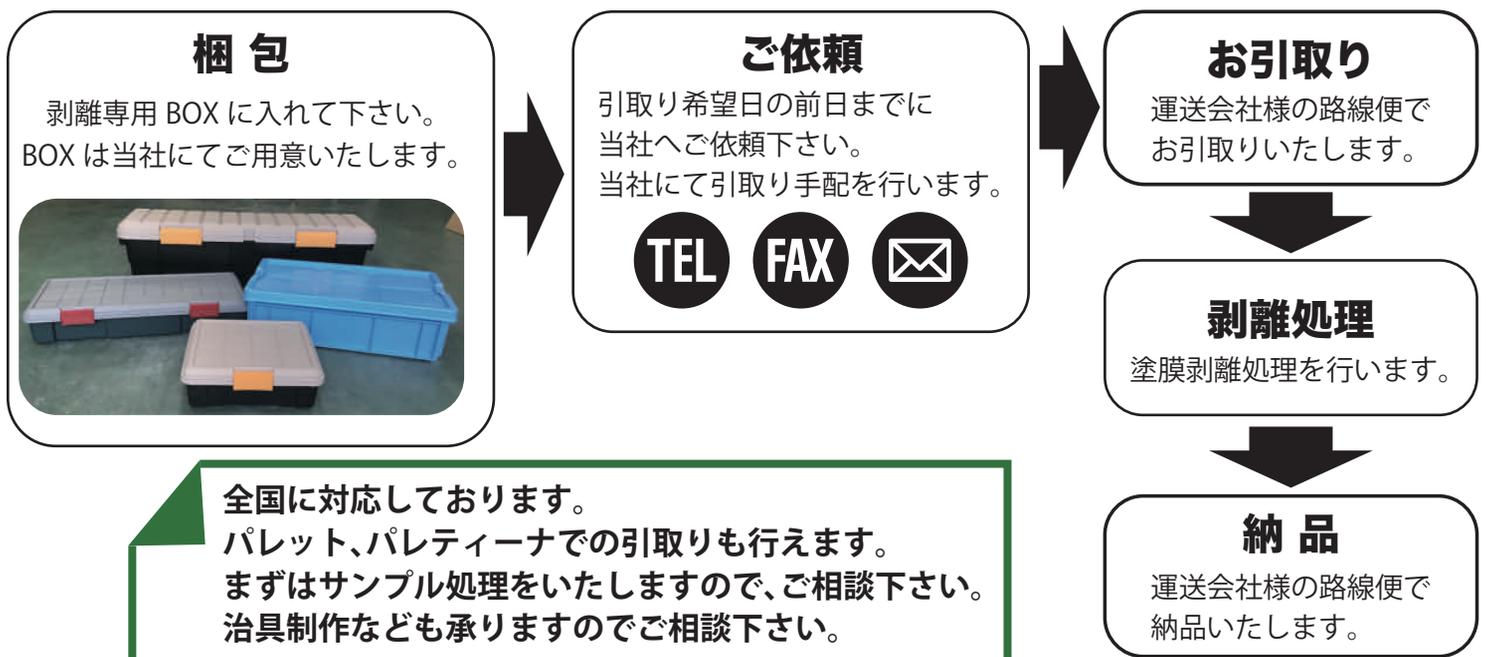


※上記のサイズを超える場合はご相談下さい。

◎ 仕上げ - 亜鉛ショットブラスト -

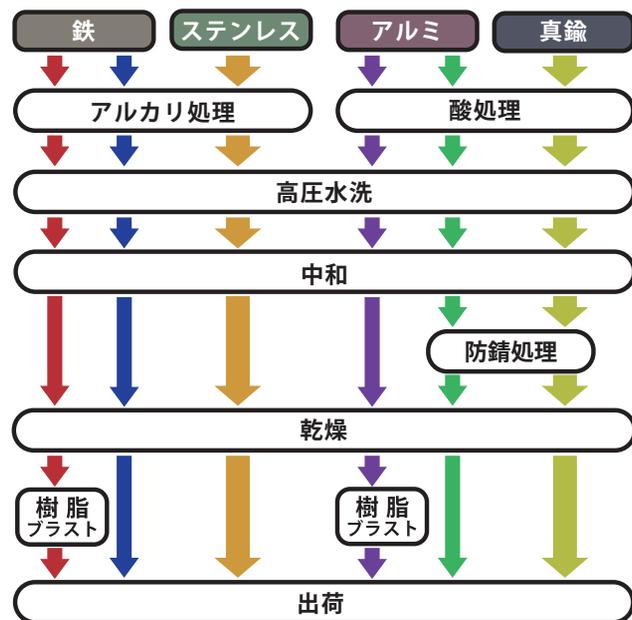
乾留式剥離後に炭素化した塗料の残骸を除去し、亜鉛の皮膜が治具に付着するので防錆効果があります。
(材質・形状によっては皮膜が付着しない場合があります。)

■ 塗膜剥離処理の流れ



溶剤式塗膜剥離

- ✓ 熱に弱い製品や治具については溶剤剥離を行っています。
- ✓ 使用塗料、及び製品の材質により、剥離液を独自に選定します。
- ✓ 精密な製品や治具に適しています。



- 溶剤剥離槽サイズ【2,000×1,000×1,000(mm)】
- 樹脂ブラスト用剥離槽サイズ【2,000×1,000×1,000(mm)】

環境方針

得意先企業の塗装工程における、塗料汚染物の剥離・清掃を従来の塩素系用材や浸透性薬品を一切使用しない乾留式剥離法を研究・採用して、大気中での光化学反応でオキシダント等の発生に参与するVOCや土壌・地下水の汚染を未然に防止することを実現し、更に、廃棄物削減の一環として、主原料である珪砂の再利用・製品化(建築資材)にも成功しました。

顧客より委託された治具の品質を保護しつつ、廃棄エネルギーの有効利用を図っております。

事業活動における環境影響を十分認識し、地球環境及び、地域環境の保全はもとより、より一層の環境負荷の低減を目指して、環境マネジメントシステムを構築し、着実に実行する環境改善活動を推進します。

産業廃棄物運搬方法

【搬出事業所】ケミックス東海株式会社掛川工場



無機性汚泥 (乾留式剥離装置からの珪砂及びショット B の粉)

【収集運搬業者】株式会社ミダック



ケミックス東海掛川工場構内にて、株式会社ミダックのトラックに積む。

【中間処理業者】株式会社ミダック豊橋事業所

株式会社ミダックが豊橋事業所まで運搬し中間処理する。

※ 中間処理された無機性汚泥は、路盤材・盛土材・仮設道路材・テトラポット等に再利用されます。



スリーエーシステム株式会社

〒572-0077 大阪府寝屋川市点野 5 丁目 16-9

TEL:072-800-7150 / FAX:072-800-7156

URL:<http://www.a-a-asysem.co.jp>